

# 「ダビデの逃亡先」

2026.3.25

聖書に学ぶ 35

I サムエル記 21:1~22:23

ダビデは神の箱が安置されていたノブの地を訪ねました。先にはサムエルの所に逃げて守られ、今度は神の箱の下、神の臨在に守られることを願っていたようです。しかしそこには、サウルの部下ドエグがいました。四面楚歌のダビデは、なり振り構わず出任せのウソで切り抜けようとします。神様は黙って見守り、助けて下さいました。

神様は不信者には、「恐ろしいさばく神」です。しかし、信じ依り頼む者には神様は「慈しみ、罪を覆う神」堅固な城となって下さるかたです。

## 今日の学びの要点

旧約の神様と新約のイエス・キリスト様は別々の方ではなく、三位一体の一人の方です。主を信じ依り頼む人が身の危険から逃れるため、なり振り構わずしてしまう失敗であっても、さばかれる方ではなく、その弱さを哀れんで覆って、守って下さる神様です。

## I、主への供えのパンを与えられる神様

1、神の箱に仕える祭司アヒメレクについて。（Iサムエル記 21:1~9）

①エドム人ドエグはアヒメレクのことを誰の子と言っていますか。（Iサムエル記 22:9）

Iサムエル記 14:3 …アヒトブの子アヒヤは、アヒメレクと同一人物と思われる。

アヒヤ(サムエルを育てた、主の祭司エリの孫になる)

②アヒメレクはどうして「震えながらダビデを迎えた」のでしょうか。

- ・サウルとダビデの問題を知らなかった。
- ・その時のダビデの様子が普通ではなかった。（着の身着のままで…逃げてきた）

2、供えのパンを食べて、打たれなかったことについて。

①供えのパン：レビ記 24:5~9 を読みましょう。

本来、この供えのパンを食べても良いのは誰でしょうか。

②イエス様の言及：マタイ 12:3～4 を読みましょう。

イエス様はこのことをどのように言っておられますか。

③神様が本当に望んでおられるのは、何なのでしょう。 (ホセア書 6:6)

## Ⅱ、弱いダビデをも守られる神様

- 1、ダビデはアヒメレクに嘘を言っています。もし自分が来た本当の理由を伝えたら、どうなっていたでしょうか。 (Iサムエル記 21:2～7)
- 2、ゴリアテの剣をもらったその日、ペリシテ人の地へ逃げ込みました。ダビデはアキシュ王の前でどうしましたか。 (Iサムエル記 21:10～13)
- 3、神様はダビデがペリシテ人の王に助けられるようにされました。この時のことを詩篇 34 編、56 編に詠っています。

## Ⅲ、ダビデとサウルの違い

- 1、多くの人々がダビデの下に集まってきました。ダビデはその中にいた自分の両親をモアブの王に預けました。モアブとどのような関係があるのでしょうか。 (Iサムエル記 22:2～4、ルツ記 1:4、4:20～22)
- 2、サウル王はダビデにパンと剣を渡したアヒメレクをどのようにしましたか。 (Iサムエル記 22:9～19)